



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年8月9日

上場会社名 東洋合成工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4970 URL <http://www.toyogosei.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 木村 有仁
 問合せ先責任者（役職名） 経理財務本部長（氏名） 多木 宏行 (TEL) 03-5822-6170
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2020年3月期第1四半期の業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	5,958	7.4	594	49.4	531	22.2	366	31.7
2019年3月期第1四半期	5,548	11.9	398	21.0	434	40.0	278	△11.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	46.21	—
2019年3月期第1四半期	35.10	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	35,971	9,165	25.5
2019年3月期	36,865	8,841	24.0

（参考）自己資本 2020年3月期第1四半期 9,165百万円 2019年3月期 8,841百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,500	11.8	1,000	24.8	900	6.9	600	9.0	75.59
通期	25,500	11.0	1,800	15.4	1,700	8.4	1,600	36.6	201.58

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年3月期1Q	8,143,390株	2019年3月期	8,143,390株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2020年3月期1Q	206,198株	2019年3月期	206,168株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2020年3月期1Q	7,937,197株	2019年3月期1Q	7,937,242株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる状況及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第1四半期のわが国経済は、堅調な雇用・所得情勢により個人消費は緩やかな回復基調で推移しているものの、企業収益・景気回復に足踏み感が見られました。

世界経済は、米国では堅調な景気の拡大と雇用環境が好調に推移、欧州でも個人消費に下支えされ、景気の後退懸念が和らぎました。一方、中国では貿易摩擦による成長率の鈍化、内需の減速が見受けられました。

さらに、米中貿易摩擦の推移、英国のEU離脱、これらによる金融資本市場の変動、各国・地域における地政学的リスクなど、引き続き注視が必要な状況が続いています。

このような状況のもと、当社は2018年8月10日発表の中期経営計画「TGC300」に基づき、お客様との関係強化、積極的な拡販、新製品の開発、コスト削減に取り組み、当第1四半期累計期間の売上高は5,958,007千円(前年同期比+409,214千円、+7.4%)、営業利益は594,503千円(前年同期比+196,488千円、+49.4%)、経常利益は531,415千円(前年同期比+96,675千円、+22.2%)、四半期純利益は366,787千円(前年同期比+88,190千円、+31.7%)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

【感光性材料事業】

半導体メモリ市況、およびディスプレイ市況の減速があったものの、顧客における当社製品及び顧客製品在庫確保のため、感光性材料の受注、ナフトキノ系感光性材料(PAC)、KrF、ArF露光向け感光性材料(PAG)の販売は堅調となりました。また、新規EUV世代向け感光性材料も需要が着実に伸長し、感光性材料全体の売上は堅調な成長となりました。

この結果、同事業の売上高は3,495,106千円(前年同期比+524,197千円、+17.6%)、営業利益は389,145千円(前年同期比+90,194千円)となりました。

【化成品事業】

電子材料関連の先端プロセス向け高付加価値・高純度溶剤製品は増加したものの、スマートフォン、データセンター向け半導体需要の軟化が続き、汎用プロセス向け製品については減少しました。

香料材料製品は、世界的に品質への要求が厳しくなるなか、品質の安定化および安定供給に努めたことにより、海外の香料メーカーを中心に販売は拡大しました。

ロジスティック部門は、顧客満足度向上に努めた結果、タンク契約率、回転率共に高水準で推移しております。

この結果、同事業の売上高は2,462,901千円(前年同期比△114,983千円、△4.5%)、営業利益は205,358千円(前年同期比+106,294千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間における総資産は35,971,848千円となり、前事業年度末比894,099千円の減少となりました。

流動資産は15,525,384千円で、前事業年度末比1,703,499千円の減少となりました。これは主に固定資産の取得等に伴う現金及び預金1,732,889千円の減少、売掛金及び受取手形110,834千円の増加、商品及び製品321,787千円の増加によるものであります。

固定資産は20,446,463千円で、前事業年度末比809,400千円の増加となりました。これは主に取得による増加1,465,437千円、減価償却による減少529,161千円によるものであります。

流動負債は16,097,611千円で、前事業年度末比667,546千円の減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金229,829千円の減少、未払法人税等342,323千円の減少によるものであります。

固定負債は10,708,719千円で、前事業年度末比550,835千円の減少となりました。これは主に長期借入金555,000千円の減少によるものであります。

純資産合計は9,165,517千円で、前事業年度末比324,282千円の増加となりました。これは主に四半期純利益366,787千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の第2四半期累計期間および通期の業績予想につきましては、2019年5月10日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,412,383	3,679,494
受取手形及び売掛金	4,314,844	4,425,678
商品及び製品	4,969,076	5,290,864
仕掛品	129,303	258,716
原材料及び貯蔵品	1,724,006	1,697,815
その他	683,634	177,287
貸倒引当金	△4,364	△4,473
流動資産合計	17,228,884	15,525,384
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,727,069	7,644,858
機械装置及び運搬具(純額)	5,218,584	4,976,022
土地	4,835,945	4,835,945
その他(純額)	784,673	2,053,964
有形固定資産合計	18,566,273	19,510,791
無形固定資産		
その他	417,335	407,376
無形固定資産合計	417,335	407,376
投資その他の資産		
その他	653,454	528,296
投資その他の資産合計	653,454	528,296
固定資産合計	19,637,063	20,446,463
資産合計	36,865,948	35,971,848
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,094,827	2,864,998
短期借入金	5,350,000	5,700,000
1年内返済予定の長期借入金	3,427,200	3,315,500
未払法人税等	406,403	64,079
賞与引当金	468,760	260,537
その他の引当金	54,254	8,212
その他	3,963,712	3,884,284
流動負債合計	16,765,158	16,097,611
固定負債		
長期借入金	9,207,500	8,652,500
退職給付引当金	1,428,314	1,456,850
役員退職慰労引当金	53,040	55,333
その他	570,699	544,035
固定負債合計	11,259,554	10,708,719
負債合計	28,024,712	26,806,330

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,618,888	1,618,888
資本剰余金	1,541,589	1,541,589
利益剰余金	5,758,917	6,086,019
自己株式	△89,205	△89,258
株主資本合計	8,830,190	9,157,239
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,986	2,664
繰延ヘッジ損益	1,058	5,613
評価・換算差額等合計	11,044	8,277
純資産合計	8,841,235	9,165,517
負債純資産合計	36,865,948	35,971,848

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	5,548,793	5,958,007
売上原価	4,417,357	4,615,386
売上総利益	1,131,435	1,342,620
販売費及び一般管理費	733,420	748,117
営業利益	398,014	594,503
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	3,414	2,855
為替差益	50,345	—
受取家賃	5,691	6,351
生命保険配当金	3,791	7,473
その他	5,252	3,641
営業外収益合計	68,498	20,324
営業外費用		
支払利息	28,916	31,056
為替差損	—	48,416
その他	2,857	3,940
営業外費用合計	31,773	83,413
経常利益	434,740	531,415
特別損失		
固定資産除却損	4,524	2,915
特別損失合計	4,524	2,915
税引前四半期純利益	430,216	528,500
法人税、住民税及び事業税	75,753	46,238
法人税等調整額	75,864	115,473
法人税等合計	151,618	161,712
四半期純利益	278,597	366,787

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益 計算書計上額 (注)
	感光性材料事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,970,908	2,577,884	5,548,793	—	5,548,793
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	65,906	65,906	△65,906	—
計	2,970,908	2,643,791	5,614,699	△65,906	5,548,793
セグメント利益	298,951	99,063	398,014	—	398,014

(注) セグメント利益又は損失は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

当第1四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益 計算書計上額 (注)
	感光性材料事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,495,106	2,462,901	5,958,007	—	5,958,007
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	66,556	66,556	△66,556	—
計	3,495,106	2,529,457	6,024,563	△66,556	5,958,007
セグメント利益	389,145	205,358	594,503	—	594,503

(注) セグメント利益又は損失は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。